

金城大学同窓会

《会報誌 第14号》 2021年1月発行号



《同窓会活動報告》

令和2年度役員会 開催報告

《各方面で活躍する同窓生》

《大学行事報告》

令和元年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び
金城大学大学院学位記授与式、
新入生歓迎プレゼント会、
KINJO自宅外学生応援キャンペーン

令和2年度 医療健康学部・看護学部
卒業研究発表会 開催報告、
金城祭代替企画「届けよう!私たちの元気・勇気・笑顔」

《新型コロナウイルス感染予防対策について》

Kinjo Infection Control Team (KICT)の
発足と活動について

【豆知識】アルコールによる手指消毒について、
卓球部の感染予防対策、
マスクについて一言

同窓会活動報告

令和2年度役員会 開催報告

《第1回役員会》

令和2年7月18日(土) 10時30分～12時15分

【議題】

前回役員会(令和元年12月13日(金))
議事録確認【資料1】

1. 令和2年度役員改選【資料2】

冒頭で会長に再任された濱田会長から、令和2年度の役員改選について【資料2】及び会則第5条に基づき、令和2年3月31日で任期満了となっている奇数卒業期生を役員に引き続き委嘱することの説明があった。また、新委員として17期生及び新幹事として1名を会長より委嘱することの説明があり、全会一致で承認された。

2. 令和元年度事業報告・決算報告

【資料3】

町野幹事から、令和元年度事業報告・決算報告について【資料3】に基づき説明がなされ、上田会計監事及び山谷会計監事による監査の結果、会計処理が適正であったことの説明があり、全会一致で承認された。

3. 令和2年度事業計画・予算【資料4】

町野幹事から、令和2年度事業計画・予算について【資料4】に基づき説明があった。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から総会・交流パーティー開催の有無を含めて検討したい旨の申し出があっ

た。審議の結果、感染拡大が広がってきていること、医療福祉現場で勤務する卒業生が大半であること、万が一クラスターを発生させてしまった場合のデメリットがあまりに大きすぎることを考慮し、今年度はやむを得ず中止とすることで承認された。

また、大学から大学同窓会に対して、ともに新型コロナウイルスを乗り越えていくための協力依頼があり、予算を決定する観点からも、どのような形で援助できるか検討を行った。資料は【その他】を参照とした。審議の結果、大学同窓会としても援助をすることで一致し、大学が算出した費用の内訳と大学同窓会資金繰りを鑑みて、援助額は1,000万円(一般会計130万円、特別会計870万円)で承認された。これを受けて、予算を再度計上し直すもの。また、今後このような支援を行う際、次の内容を検討していく。

- ・ 次年度以降も感染拡大が考えられるため、継続的な検討を行うこと
- ・ 援助する額に対する規定を設ける必要性があること
- ・ 支援を行うことは、修学支援だけでなく、昼食の援助なども考えられること

8月下旬に総会・交流パーティー中止の案内を行い、第1回役員会の結果を報告しました。

新型コロナウイルス支援金について

新型コロナウイルス感染拡大から緊急事態宣言が発令され、多種多方面で影響を及ぼしました。それは大学に対しても同様で、対面授業ができません。遠隔授業となっていること、学費納入面でも影響を及ぼすなど多岐にわたっております。

そんな中、卒業生の皆さまから「在学生に対してできる限りの援助をしなければ」という声が上がってきました。大学同窓会役員会の中で議論を重ね、大学に対して支援金として寄付いたしました。

支援金については、感染予防対策用品の購入や、遠隔授業の実施にかかる学生支援等に対して有効活用されております。

皆様の深いご理解に感謝し、厚く御礼申し上げます。



予算・決算（令和元年度決算・令和2年度予算）

一般会計

(単位:円)

収入の部	令和元年度決算			令和2年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
会費	6,380,000	5,300,000	▲1,080,000	6,060,000
雑収入	100,300	73,040	▲27,260	100,300
前年度繰越金	7,086,813	7,086,813	0	5,735,230
合計	13,567,113	12,459,853	▲1,107,260	11,895,530

一般会計

(単位:円)

収入の部	令和元年度決算			令和2年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
会議費	70,000	32,474	▲37,526	50,000
交通費	150,000	91,320	▲58,680	150,000
交流パーティー運営費	1,500,000	849,008	▲650,992	0
金城祭補助費	300,000	158,900	▲141,100	0
新型コロナウイルス支援金	—	—	—	1,300,000
会報誌制作費	700,000	581,438	▲118,562	700,000
ホームページ制作費	150,000	129,600	▲20,400	150,000
名簿管理費	200,000	151,347	▲48,653	200,000
通信費	2,200,000	1,975,978	▲224,022	2,200,000
雑費	400,000	179,558	▲220,442	300,000
同期会開催助成金	500,000	75,000	▲425,000	300,000
事務費負担金	500,000	500,000	0	500,000
特別会計繰出金	2,000,000	2,000,000	0	1,000,000
予備費	413,977	0	▲413,977	5,045,530
合計	9,083,977	6,724,623	▲2,359,354	11,895,530

特別会計

(単位:円)

収入の部	令和元年度決算			令和2年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
特別会計繰入金	2,000,000	2,000,000	0	1,000,000
利息	3,000	2,168	▲832	2,335
前年度繰越金	25,938,664	25,938,664	0	27,940,832
合計	27,941,664	27,940,832	▲832	28,943,167

支出の部	令和元年度決算			令和2年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
新型コロナウイルス支援金	—	—	—	8,700,000
予備費	—	—	—	20,243,167
合計	0	0	0	28,943,167

※【一般会計】(収入の部)合計12,459,853円-(支出の部)合計6,724,623円=5,735,230円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】(収入の部)合計27,940,832円-(支出の部)合計0円=27,940,832円を次年度繰越金とする。

令和2年度役員

会長 濱田 陽介 (1期生) **副会長** 中野 雄介 (1期生) 河合 直人 (8期生) 柳島 優奈 (16期生)
会計監事 上田 良和 (1期生) 山谷 聡美 (4期生)

委員 内島 一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	園谷 準 (1期生)	赤津 慎太郎(2期生)
久田 緑 (2期生)	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)
七野 澄麗 (3期生)	山下 和恵 (3期生)	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)
赤木 由未子(4期生)	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)
越村 知恵 (5期生)	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)	辰田 沙弥香(5期生)
花井 友美 (6期生)	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)
西村 仁美 (6期生)	坂本 千夏子(6期生)	西野 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)
西川 美香 (7期生)	鷹合 いつか(7期生)	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)
竹田 圭佑 (8期生)	鷺田 恵 (8期生)	岩田 めぐみ(9期生)	北村 允人 (9期生)	剣村 祐依 (9期生)
藤川 彩 (9期生)	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)
前田 静香 (10期生)	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	橋本 千晶 (10期生)	池田 光次郎(11期生)
櫛引 敏裕 (11期生)	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	新田 祐希 (12期生)
山本 有佳里(12期生)	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)	東木 悠樹 (13期生)
山下 大貴 (13期生)	青山 祥子 (13期生)	岡田 智成 (13期生)	中村 瑤 (13期生)	角出 遥 (14期生)
太田 圭一郎(14期生)	坂本 恭一 (14期生)	前田 祐希 (14期生)	吉田 友稀乃(14期生)	嶋 穂乃花 (15期生)
畑谷 淳平 (15期生)	福田 優香 (15期生)	成 進二郎 (15期生)	堀田 菜月 (15期生)	堂前 達也 (16期生)
池田 舟平 (17期生)	林 千香子 (17期生)	山本 宏樹 (17期生)	近藤 啓司 (17期生)	中西 泰志 (17期生)
山田 康貴 (17期生)	石田 梨乃 (17期生)	三浦 萌子 (17期生)		

幹事 岡村 綾子、斎藤 修啓、小島 聖、谷口 佳奈恵、佐々井 誠、町野 圭亮、宮本 麻衣子、田中 千恵

各方面で活躍する同窓生

知的障害者の方々のピュアさに感動 ワクワクする毎日を重ねていきたい

私は「誰かの力になれる仕事」をしたいと福祉の道を選び、金城大学に入学しました。ソーシャルワーク実習に行った通所施設で初めて知的障害者の方と関わり、そのピュアさに感動するとともにコミュニケーションの難しさを痛感。もっと関わりたいと思いました。

実習で目の当たりにした「こだわり行動(行動障害)」に興味を持ち、卒業でもそれをテーマにしたアンケート調査を実施しました。調べていくうちに興味がどんどん湧いてきて、就職先として愛育学園を選んだのも「こだわり行動」を深く知ることができると考えたからです。生活支援員として、重度の知的障害者の方々と過ごす日々の中で、すぐには解決できなくても決して諦めず、毎日の繰り返しの中から少しでも変化を見出せたときの喜びは言葉に言い表せないほどのです。

利用者の方が美術教室「H a r t」で描いた絵画などを展示する「H a r t展」や、その作品をグッズに加工した「A I G o o d s」の販売で、一般のお客様から良い評価をいただけると、とても嬉しいですし誇らしい気持ちにもなります。今は目の前のことへの対応に精一杯ですが、さらに経験を積みながら、利用者の方と余裕を持ってコミュニケーションできるようにになりたいです。これからもずっと仕事にワクワクしてまいりますし、振り返ってみて楽しかったと思えるような日々を重ねてまいります。



小谷 茉莉さん

【社会福祉法人 松原愛育会 愛育学園】
社会福祉学部 社会福祉学科 平成28年度卒業 14期生



一人一人としっかり向き合い こどもの個性に応じた関わり方を

大学時代は、ボランティアサークルBBSの副代表をしていて、こどもと関わるさまざまな活動に取り組んだり、オーブンキャンプのガイドリーダーをやったりしたことが懐かしく思い出されます。私は小学校6年生の頃から保育士を目指していたので、中学生の時には金城大学に進学しようとしていました。現在、自分の出身園でもあり、夏祭りや運動会のボランティアにも来ていたぶじょうこども園で、保育教諭として年中クラスの副担任をしています。

運動会や表現会で、それまでの練習の成果を発揮でき、こども達と一緒に達成感を噛み締めている時や、人見知りでも最初は恥ずかしそうにしていた子が、心を開いてくれて信頼関係が築けたと思える時に大きなやりがいを感じます。常に心がけているのは、こどもの個性に応じた関わり方ができるようにということ。一人一人にしっかりと向き合ったコミュニケーションに努めています。

1年目に担当した年長クラスの卒園式が感動的でした。初めて担任をして初めて送り出すこども達だったということで、いろんな思い出とともに一人一人の顔が浮かんで来たりして、やっていてよかったなと思いました。これからも、日々の活動の中でこども達との遊びの引き出しを増やし、行事の指導方法を確立していったり、保護者の方との関わり方なども少しずつ学んでまいります。



金平 智樹さん

【社会福祉法人 出城福祉会 幼保連携型認定こども園 ぶじょうこども園】
社会福祉学部 こども専攻 平成30年度卒業 16期生



患者さんの不安に寄り添うP.Tに 将来は母校の後進育成にも貢献したい

金城大学では「B o a s i s i t」というゼミ活動を通して、かけがえのない仲間ができました。近隣の中学校・高校の運動部に向向いて、筋トレやストレッチの指導などを行っていました。運動があまり得意ではなかった私は、もっぱらスピーチ・講義を担当。それぞれの得意分野で力を出し合いながら一つのことを成し遂げるという経験は、今の仕事にも大いに役立っています。

現在、理学療法士として回復期病棟で働いています。脳卒中の患者さんが大半を占めており、脳のダメージによって失われた機能、基本的な動作を取り戻すサポートにあたっています。「家に帰りたい」とか「趣味を再開したい」という患者さんの思いに寄り添って、いかに麻痺を軽減して元の生活に近づけるかが肝心なところ。患者さんの不安な気持ちを第一に傾聴するよう、落ち着いた感じで接することを心がけています。

手指に麻痺のあった70代の男性患者さんが、リハビリテーションによってグーを握れるようになったケースが印象に残っています。ご本人も「握れた」とすごく嬉しそうにされていました。患者さんごとに麻痺の部位や症状の程度は異なりますから、いろいろなケースを重ねながら経験と知識を深めてまいります。いずれはバイザー業務を担えるようになって、母校の後進育成にも貢献できればと思っています。



上口 まる美さん

【医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院】
医療健康学部
理学療法学科
令和元年度卒業 17期生



患者さんに一番近い存在として 安心して頼られる作業療法士に

作業療法士として金沢脳神経外科病院に勤務し、脳梗塞や脳出血といった脳疾患で片麻痺になった回復期の患者さんを担当しています。退院後の生活に関わる全般の動作・行為についてリハビリテーションを行ったり、環境調整にあたりしています。私が作業療法士になろうと思ったのは、高校時代の職場体験で通所施設を見学したのがきっかけです。皆さん、楽しそうにリハビリテーションされていたのが印象的でした。

金城大学では、励まし合いながら一緒に勉強してくれた友人のおかげもあって、何とか国家試験にも合格できました。また、キャンパスでテキストを見ながら実習前の評価の練習をしたり、実習でうまくいかなかったことなどを報告し合い、乗り越えることができたことが一番の思い出です。その実習で担当したのが脳の病気の方で、劇的な快復を見ることができ、もっと詳しくなりたいと思っただけで現在の就職先を選びました。

手足が動かなくなると落ち込んでいた患者さんに、かける言葉が見つからず戸惑うこともしばしば。患者さんから見れば私なんてまだまだ若造で、頼り切っていただけではないと感じ反省することも多々あり、自分では対応・解決できないと思う時は、先輩や同僚スタッフに相談しています。もっと知識と経験を積んで、患者さんにとって頼りになり安心できる作業療法士になりたいです。



広瀬 加奈さん

【医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院】
医療健康学部 作業療法学科 平成28年度卒業 14期生



重症心身障害児(者)の助けになりたい 細心の注意を払って援助していく

高校生の時に参加した「医療体験」で、テキパキと働く看護師さんが「カッコいい!」と思っただけ。金城大学では、国家試験に向けて朝早くから夜遅くまで、友達と一緒に楽しく勉強できたことがいい思い出です。勉強をすればするほど模試の点数も上がってきたので、自信を持って本番の国家試験に臨むことができました。

私が勤務している重症心身障害児(者)病棟には、乳児から成人までの幅広い年齢層の全介助が必要な患者さんが入院しています。実は、臨床実習でこの病棟に来た際二人で生きていくのが困難な人の助けになりたい」と強く思い、医王病院への就職を志望しました。バイタル測定からはじまり、おむつやガーゼ類の交換、入浴介助、食事介助、経管栄養・与薬、点滴、呼吸器管理など医療処置だけでなく、日常的なこと全般を援助しています。言葉で訴えることができない患者さんが多く、表情やしぐさなどを読みとる非言語的コミュニケーションを大切に、細やかな観察と関わりに重点を置くため、バイタルサインや表情を見ながら「これでもいいのか?」と模索する毎日です。

実習時と実際に働いている現在では、責任感が全然違います。例えば、どこかが痛くても「痛い!」と言えない患者さんの全てがこちらに委ねられているので、少しのミスも許されません。そのプレッシャーと責任の重大さを肝に銘じながら、患者さんへの声かけは忘れずに、慎重に一つ一つの看護援助にあたっています。患者さんの笑顔を見られたり、表情が良くなった時はとても嬉しく感じます。



堀 智絵さん

【独立行政法人 国立病院機構 医王病院】
看護学部 看護学科 令和元年度卒業 17期生



令和元年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧

金城大学



2020年3月 卒業生の進路結果

(令和2年5月1日現在)

社会福祉学部

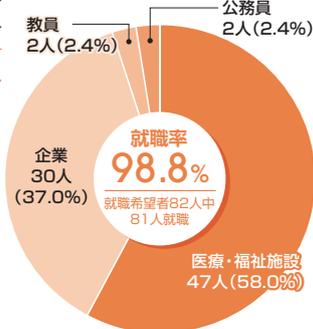
社会福祉学科

介護職	29人
支援員	17人
相談員	2人
医療ソーシャルワーカー	3人
製造技術職	1人
営業職	5人
販売職	3人
事務職	19人
教員	2人
計	81人

医療・福祉	4人
製造業	4人
金融業	2人
卸・小売業	8人
情報通信業	2人
宿泊飲食業	3人
複合サービス業	1人
サービス業	1人
人材派遣業	5人
計	30人

高齢者関連施設	25人
障害者(児)施設	17人
社会福祉協議会	1人
病院	4人
計	47人

教員	2人
公務員	2人
計	4人



就職率	98.8%
卒業生	85人
就職希望者	82人
就職者	81人

就職率98.8% = 就職者数81人 ÷ 就職希望者数82人 × 100

社会福祉学部

子ども福祉学科

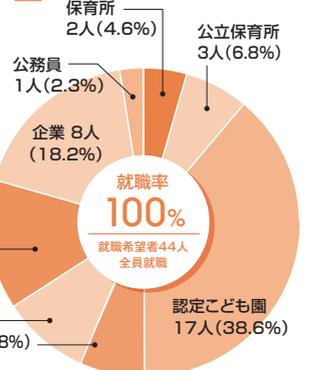
保育士	6人
幼稚園教諭	4人
保育教諭	20人
相談員	2人
支援員	5人
販売職	3人
接客員	1人
事務職	2人
スポーツインストラクター	1人
計	44人

医療福祉	2人
製造業	1人
卸・小売業	2人
情報通信業	1人
宿泊飲食業	1人
サービス業	1人
計	8人

保育所	2人
幼稚園	4人
認定こども園	17人
障害者(児)施設	6人
計	29人

公立保育所	3人
公立認定こども園	3人
公務員(県庁職員)	1人
計	7人

保育所	2人 (4.6%)
幼稚園	4人 (9.1%)
認定こども園	17人 (38.6%)
障害者(児)施設	6人 (13.6%)
公務員	1人 (2.3%)
企業	8人 (18.2%)
医療・福祉施設	6人 (13.6%)
計	29人



就職率	100%
卒業生	44人
就職希望者	44人
就職者	44人

就職率100% = 就職者数44人 ÷ 就職希望者数44人 × 100

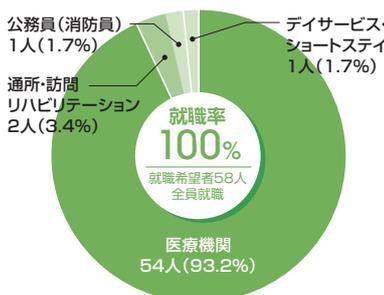
医療健康学部

理学療法学科

理学療法士	57人
消防員	1人
計	58人

医療機関	54人
通所・訪問	2人
リハビリテーション	1人
ディサービス・ショートステイ	1人
計	57人

公務員(消防員)	1人
公務員(消防員)	1人
計	1人



就職率	100%
卒業生	58人
就職希望者	58人
就職者	58人

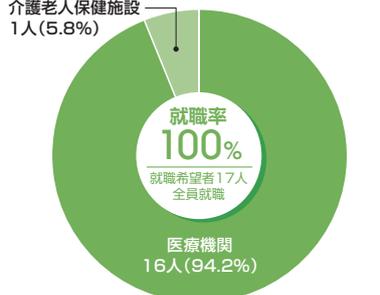
就職率100% = 就職者数58人 ÷ 就職希望者数58人 × 100

医療健康学部

作業療法学科

作業療法士	17人
計	17人

医療機関	16人
介護老人保健施設	1人
計	17人



就職率	100%
卒業生	17人
就職希望者	17人
就職者	17人

就職率100% = 就職者数17人 ÷ 就職希望者数17人 × 100

看護学部

看護学科

看護師	73人
計	73人

病院	73人
進学	3人
計	73人



就職率	100%
卒業生	76人
就職希望者	73人
就職者	73人

就職率100% = 就職者数73人 ÷ 就職希望者数73人 × 100

大学行事報告

令和元年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式

令和2年3月18日



新型コロナウイルスの影響から、本学ではかけがえのない節目の行事である卒業証書・学位記授与式への対応について慎重に検討を重ねてきました。結果として、安全を考慮し、当日は形式を変更し、本学学内で卒業生(社会福祉学部129人、医療健康学部75人、看護学部76人、大学院修士生5人)と教職員のみで挙行しました。社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

新入生歓迎プレゼント会

令和2年6月17日～19日

6月17日(水)、18日(木)、19日(金)の3日間、大学短大友会合同企画「新入生歓迎プレゼント会」を開催しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、一堂に会する新入生歓迎会を変更して、学友会の学生から新入生ひとりひとりへ歓迎プレゼントを手渡しする形態としました。

密を避けるため、学部学科で日程や時間帯を分けて指定し、短大合わせて634人の新入生が日光アリーナ前で蛍光ペン等のプレゼントを受け取りました。学友会からのプレゼントを手にした新入生は、対面授業を再開した学生生活の新たなスタートに、ワクワクしている様子でした。



KINJO自宅外学生応援キャンペーン 令和2年6月24日

6月24日(水)、大学短大友会合同企画「KINJO自宅外学生応援キャンペーン」応援食品で元気に過ごそう!」を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、外出自粛が続く、一人暮らしの学生は、帰省できなかった方など大変苦労をされました。そんな学生の皆さんを応援するため、学友会からパスタやカレー、カップラーメン、野菜ジュース、果物ゼリーなどの食品やマスクを用意しました。

そして、短期大学部ビジネス実務学科フードビジネスコースの専任教員で、フードコーディネーターの資格を持つ越野裕美子准教授が考案した「応援食材を使った簡単レシピ」、健康管理センターからの「一人暮らしで気を付けてほしいこと」も同封しました。



大学短大あわせて3800人分をひとりひとりへ気持ちを含めて学友会学生から手渡ししました。

令和2年度 医療健康学部・看護学部 卒業研究発表会 開催報告

社会福祉学部 令和2年12月～令和3年2月
医療健康学部 令和2年9月～令和2年10月
看護学部 令和2年12月21日～令和2年12月24日

卒業研究発表会は、3年次からゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する会です。令和2年度の卒業研究発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、医療健康学部・看護学部ともにゼミごとでの発表会となりました。従来のような形式ではないもののパワーポイントやポスターを用いて、自分の研究成果について説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えようとする様子が見られ、活気溢れる卒業研究発表会となりました。社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を開催します。

金城祭代替企画 「届けよう! 私たちの元気・勇氣・笑顔」

令和2年11月4日～令和3年3月31日

令和2年度の金城祭は、新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら中止となりました。毎年多くの学生の笑顔や元気を発信する金城祭が中止となったため、その代替企画として、動画コンテスト「届けよう! 私たちの元気・勇氣・笑顔」を開催しました。金城祭で発信するはずでした「元気・勇氣・笑顔」を動画によって皆様へお届けしたいと考えたものです。

このテーマのもと、金城大学・金城大学短期大学部の学生から自作の動画を3つのジャンルに分けて募集し、その動画をYouTubeとInstagramに公開しております。公開日から11月30日までの期間の動画再生回数に応じて、3つのジャンルでそれぞれ最優秀動画を決定し、表彰を行いました。



ホームページURL
<https://www.kinjo.ac.jp/ku/wp/?p=16594>

退任教職員のご案内

社会福祉学部の中谷真央助手、事務職員の山下曜子さん(保健管理センター)が令和2年1月末で、看護学部の越納美和助教が令和2年2月で、社会福祉学部の元村智明准教授、医療健康学部の小山善子特任教授、看護学部の高山成子教授、森啓至教授、事務職員の山本勇輝さん(総務企画部)、米村章一さん(管財部)、干場あゆみさん(入試広報部)が令和2年3月末で、看護学部の濱田珠里助手が令和2年7月末で、退職されました。

新型コロナウイルス感染予防対策について

Kinjjo Infection Control Team (KICT) の発足と活動について

学長 前島伸一郎

ご存知のように新型コロナウイルスの感染拡大は、日常生活や社会・経済活動のみならず、あらゆる分野に影響を及ぼしています。



昨年3月、世界保健機構(WHO)はパンデミックを宣言し、4月には本邦で特別措置法に基づき緊急事態宣言が出されるなどの措置がとられ、専門家会議からは3密(密集・密接・密閉)を避けるように提唱され、政府は在宅勤務を含むテレワークを推奨しています。感染者は全世界で7千682万人(死者169万人)に到達し(令和2年12月21日現在)、今なお増え続けております。



この間、金城大学においては、卒業式の縮小、入学式や公開講座の中止などの対応に追われました。また、連休明けより遠隔授業を開始していたわけですが、医療・福祉を専門とする本学においては、実習や演習は必要不可欠の修学科目となり

ます。そこで何とか対面授業を実施できないだろうかと考え、学内の医師、看護師、研究者などの専門職から構成する「金城感染制御チーム(KICT)」を立ち上げました。その目的は、安全な学習環境を提供するために、学内の感染予防ラウンドや環境パトロール、アンケート調査による教職員や学生の感染対策への実態調査、教職員や学生に対する研修会による感染予防の教育などです。本学ではこのような全学的な感染予防対策を実施した上で、北陸地区ではどこよりも早く対面授業を再開することができました。我々に求められるのは、これまでの生活を取り戻すことではなく、一歩踏み出した新しい生活様式を身につけるべく、行動変容を行うことです。学内における感染症対策は環境整備と行動変容が最も大切であります。同窓生の皆さまにおかれましても、なお一層、ご家庭における感染防御への取り組みをお願いしたいと思っております。

金城感染制御チーム(KICT)

member

加藤 博、前島 伸一郎、野村 忠雄、野村 隆士、山根 淳子、野上 悦子、山本 拓哉、藤田 ひとみ、米原 有紗、福田 千加子、久野 光広、表 健生、金城 利雄、木林 勉、加納 宏志、吉岡 利恭 (敬称略)



アルコールによる手指消毒について

豆知識

医療健康学部教授
野村隆士

この頃、スーパーやショッピングセンターなどの出入り口で、アルコールによる手指消毒を行うことが一般的になってきました。もちろん、本学でも校舎の出入り口、教室の出入り口にはアルコール消毒薬が設置されており、学生はもちろん、教職員も入室時にはアルコールによる手指消毒を行っております。



このアルコール消毒ですが、どのような病原微生物に効果があるのでしょうか。細かい話は省きますが、ウイルスに関して言えば、ウイルスの一番外側に脂質の層(これをエンベロープといいます)を持つているエンベロープウイルスには有効な消毒法です。例えば、コロナウイルス、インフルエンザウイルス、HIVなどです。しかし、エンベロープを持たないノロウイルス、A型肝炎ウイルスなどはアルコールに抵抗性を示します。脂質はアルコールに溶けてしまいますので、エンベロープウイルスはアルコールによって、無毒化できるわけです。そのため、現在問題になっているコロナウイルスや、これから流行が懸念されるインフルエンザウイルスには、アルコール消毒が有効です。みんなで積極的にアルコール消毒を行って感染防止に努めたいものです。

卓球部の感染予防対策

社会福祉学部 教授
山根淳子

金城大学には様々なクラブやサークルがあり、学生のキャンパスライフを豊かにしています。しかし、コロナ禍により今年度はすべての活動をいったん中止せざるを得ませんでした。現在は、感染予防対策が万全であることを確認したうえでクラブ、サークルの一部が活動を再開しています。

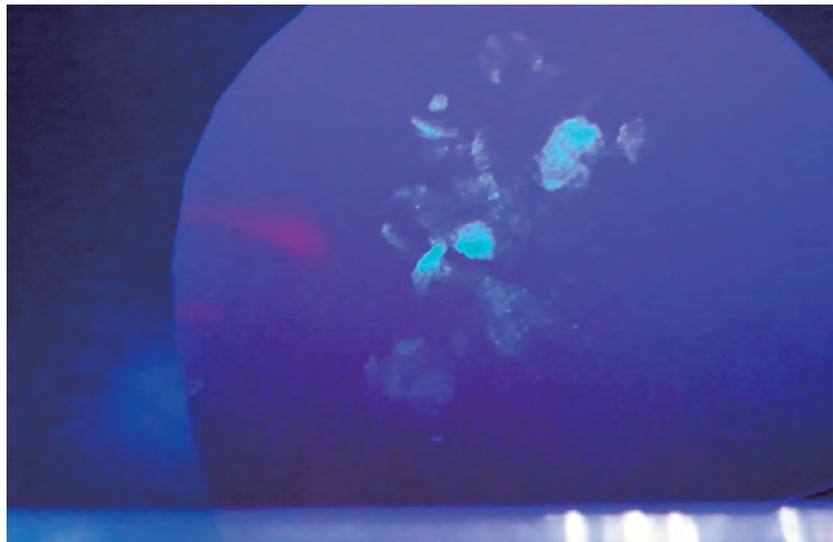
今回、再開したクラブの中から卓球部の感染予防対策を紹介します。

競技で使用するピンポン玉は、アルコールで変質するため日本卓球協会推奨の界面活性剤で洗浄し、卓球台は専用のアルコール消毒剤を使っています。ウイルスを除去することに加えて大切な道具を傷めない配慮です。練習後は、道具だけでなくアリーナのドアノブ・スイッチ・トイレのスリッパなど触れたところ全てを消毒しています。また、密接となるダブルスの練習はしない、練習中以外はマスクを装着するなど飛沫感染を防ぐことにも気をつけています。



十分な感染対策を講じていますが、さらに感染予防学習として蛍光塗料とブラックライトを使ってウイルス(蛍光塗料)が学生の手に付着したらどのように広がるのか、ラリーを行い実験しました。その結果、ピンポン玉を介して相手学生のラバー、卓球台などに多

数付着がみられました。容易に汚染が広がることを知り、道具等の消毒や手指衛生の大切さを実感しました。



▲対戦相手のラバーの付着



▲界面活性剤で洗浄している様子

マスクについて一言

看護学部 准教授
野上悦子

マスクの装着がすっかり日常となりました。カラフルでおしゃれなマスクや手作りもよく見かけます。

アメリカの大学の研究によると、簡易マスクとしてポリエステルを素材とするネックウォーマーなどを使用した場合、大きな飛沫が細かく分解されてより拡散するため逆効果であること、マスクは綿素材を重ね使いの方がより効果的であることが示されています。

日本にはマスクの品質を保証する明確な基準がなく、マスクの良し悪しを一概には言えませんが、自分が発する飛沫を周囲の人に暴露させないためには必須アイテムです。

ウイルスの大きさは100nm単位というイメージさえできないミクロなサイズですが、それが飛沫となると、水分を含み大きな塊となります。ウイルスは飛沫に含まれて飛散します。

また、先日ニュースで、スーパーコンピューター富岳のシミュレーションにより、乾燥した空気の方が飛沫は細かくなり、より長く飛散するという結果を紹介していました。これから乾燥する冬の季節を迎えます。より一層正しいマスクの選択と装着が必要になります。

マスクを装着した者同士の感染リスクは、どちらかが感染者であっても「低リスク」ですが、一方がマスク未装着の場合、感染リスクは「中リスク」となり、双方とも未装着では「高リスク」です。

今は、無症状のままいつの間にか自分が感染していてもおかしくない状況です。自分の飛沫を飛散させないために、人と会話する時は、効果のあるマスクを正しく装着しましょう。

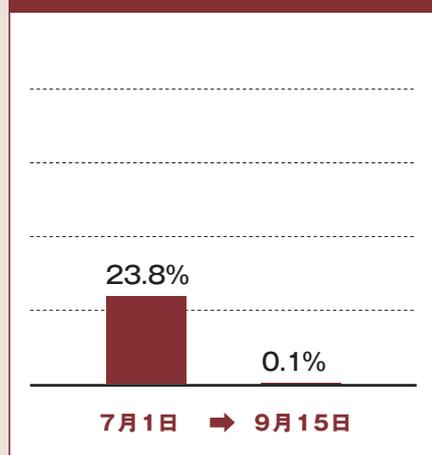
今年度は新型コロナウイルスの影響で大学の授業形態が大きく変化しておりましたが、緊急事態宣言解除後、少しずつ本来の形に戻りつつあります。

文部科学省による大学等を対象に行った後期の授業実施方針に関する調査の結果(9月15日)では、「全面遠隔授業」は7月1日時点での23.8%から0.1%(図1参照)に減少し、「全面対面授業」は16.2%から19.3%(図2参照)、「対面と遠隔の併用」60.1%から80.1%(図3参照)とそれぞれ増加しています。本学も6月上旬より対面授業が再開し、後期も対面授業を中心とした授業を実施しています。学内の新型コロナウイルスへの感染対策としては、手指消毒、マスク着用、距離の確保、体調・行動確認、授業前後での教員からの指導などを徹底しております。

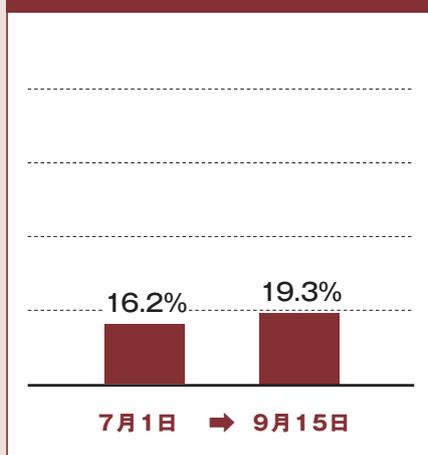
また夏季休暇中には、学外実習やその代替となる学内実習を実施しました。学生の事前アンケートでは「学外での実習を行うことへの感染の不安や自分が患者さまや施設に迷惑をかけるのではないかと心配」との声がありました。そのため実習前には、現場の感染対策の現状を伝え自信を持って実習に臨めるよう感染対策事前指導を実施しました。実習が無事に終了したことは、施設のご指導・ご協力とともに学生1人1人が意欲的に取り組んでくれたからだと思います。

今後も新型コロナウイルスの感染対策は必要となり、学生や保護者の方々の様々な不安が解消されることは難しいと思われまます。大学としても感染対策を徹底し、学生達が安心・安全に学べる環境を構築していきたいと思ひます。

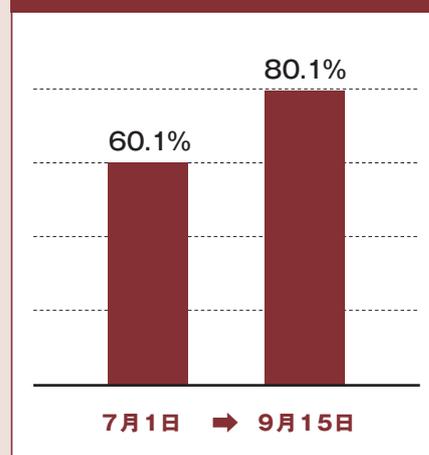
【図1】全面遠隔授業



【図2】全面対面授業



【図3】対面と遠隔の併用



卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)
《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)
 ※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。
 ※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。
 ※利用日・時間についての詳細はホームページをご確認ください。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

卒業後の証明書交付についてはHPをご確認ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第14号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。
 同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。
 住所等が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。
 ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。ただ、交流パーティーへの参加を呼びかけていただくため、役員に同期の方の連絡先をお伝えすることがありますので、ご了承ください。
 今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル 0120-276-150
TEL 076-276-5175 (直通)
FAX 076-275-4316
E-mail nyushi@kinjo.ac.jp

金城大学同窓会 会報誌 第14号 令和3年1月20日発行 編集兼発行：金城大学同窓会 事務局

〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL> <http://www.kinjo.ac.jp/ku/> <E-mail> u-dosokai@kinjo.ac.jp
 〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651